

## <地域資源活用推進グループ>

- 農商工連携による産業振興
- 地域資源の活用による産業振興
- 中小企業の販路拡大の支援
- 伝統工芸産業の振興
- 中小企業地域資源活用プログラムによる支援

# ○ 地域資源活用推進グループのミッション

地域間競争を勝ち抜き、外貨を獲得していくためには、本県の強みを生かし、農林水産物をはじめとする優れた地域資源を最大限に活用した新たな取組を促進していく必要があることから、農商工連携の推進をはじめ、豊富な地域資源を活用した新商品開発及び販路開拓などの支援を通じて、地域産業の振興と魅力あふれる「しごとづくり」につなげること。

- 中小企業地域資源活用促進法
- 地域資源バリュー・イノベーションモデル構築推進事業（重点・新規）
  - ・ ビジネスモデルの企画、提案活動など
- 発酵技術を活用した産業振興事業（重点・新規）
  - ・ ビジネスモデルの調査研究など
- 健康志向による県産スイーツ付加価値向上事業（重点（ベンチャー）・新規）
  - ・ ゼミナールの設置・運営など



地域資源  
の活用推進



農商工連携  
の推進

- 「あおもり農商工連携推進プラン」（H29.2）の推進
- 農商工連携成長産業化支援事業（一般政策・継続）
  - ・ 農商工連携推進セミナー
  - ・ 専門家派遣制度
  - ・ 農業機器展における青森県ブース出展

魅力あふれる  
仕事づくり

販路開拓の支援



伝統工芸産業  
の振興



- 「あおもり工芸品産業振興事業」（重点・新規）
  - ・ 消費者を対象とした取組  
本県工芸品の価値と魅力を発信する企画展を開催
  - ・ バイヤーを対象とした取組  
首都圏で開催される国際的な見本市に青森県ブースを出展



# 《農商工連携による産業振興》

## あおもり農工ベストミックス新産業創出構想（平成18年3月策定）

### 基本理念

ローカルテクノロジーを活用した農工の連携・融合等による新産業の創出・育成を通じ、本県の産業の活性化、県土の均衡ある発展を図ります。

### 基本方針

#### 《産業クラスター的手法による地域産業の振興》

- 地域の企業等が、大学、研究機関、支援機関等の関係機関と連携
- 農作物の生産管理技術、グリーンエネルギーやバイオマス資源、機能性を追求した加工・製造等のシーズなどを活用
- 新事業を創出・育成し、これらをクラスターとして形成

### 戦略プロジェクト

#### ① 新生産システム・グリーンエネルギー活用型生産プロジェクト

農産物生育管理、新エネルギー、バイオマス資源の多角的利用技術の開発・導入等による新たな生産システムの確立を目指す

#### ② グリーンフード&テクノロジープロジェクト

県産農林水産資源が有する生理機能を研究し、機能性食品の商品化や省力・操作性に優れた農業機器等の研究開発・企業化の取組の強化

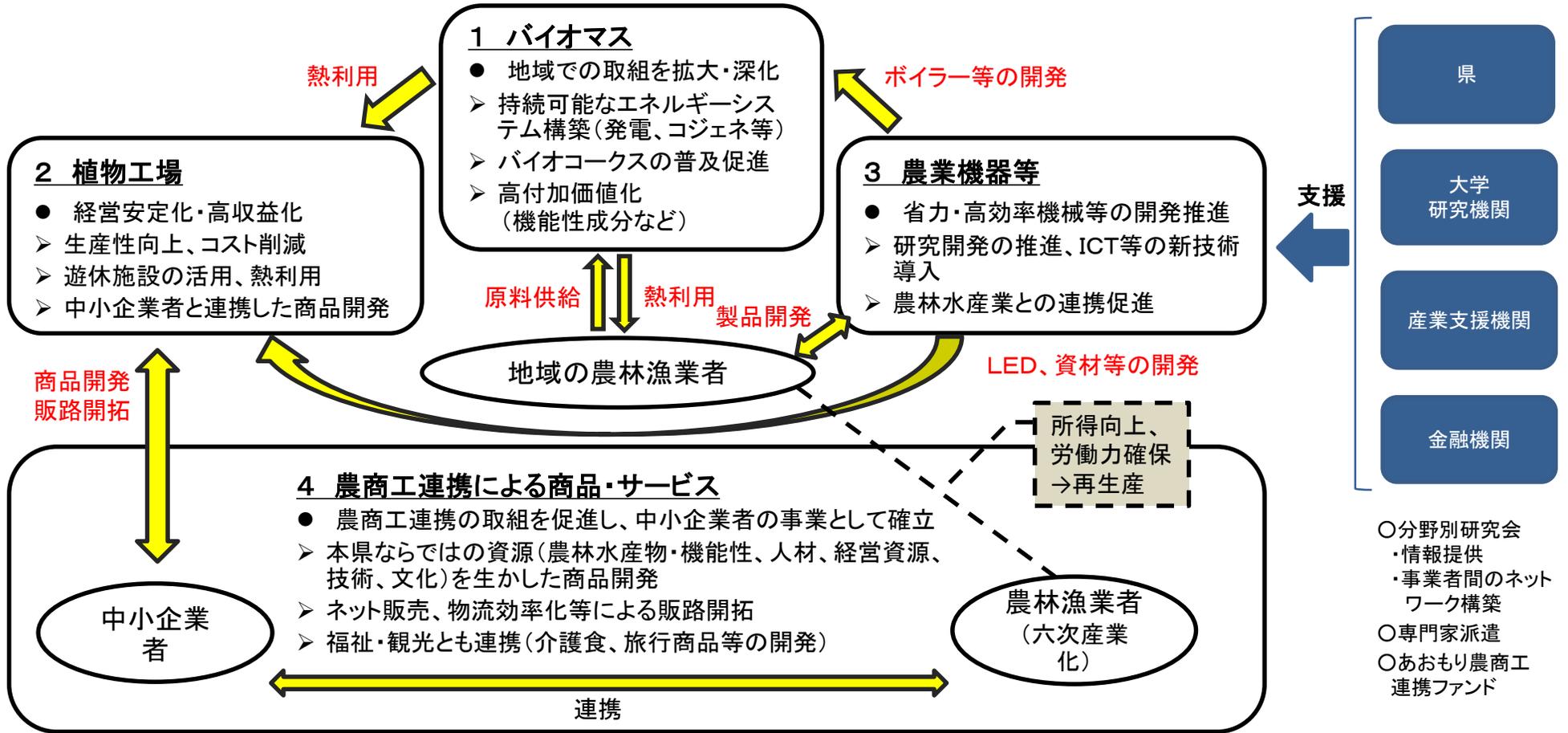
#### ③ 戦略的流通・販売システム活用プロジェクト

食産業や流通産業と連携した新事業の展開やweb市場等を活用した販路開拓を促進



# あおり農商工連携推進プラン 概要図

～ 各分野を相互に関連付け・融合させながら、地域の中小企業等の連携を推進 ～



## 1 バイオマス高付加価値化の促進

● 県内のバイオマスを効率的に安定して調達できる体制を整え、バイオマスを高付加価値製品に利活用する取組を促進するため、バイオマスの収集運搬・原料調達体制モデルを構築実証した。

□ 委託先（青森バイオ技研株式会社） 1件

## 2 「第4回国際次世代農業EXPO」への出展

### (1) 「第4回国際次世代農業EXPO」の概要

農業法人や農協等の農業機器のユーザーや農業参入検討企業及び植物工場事業者等の関係者が一堂に会する当該展示会において、県内企業が持つ技術・製品を発信し、新たなビジネスマッチングを促進した。

期 間：平成29年10月11日(水)～13日(金) 3日間

会 場：幕張メッセ

来場者：23,981人

出展事業者：5社



	事業者名	所在地	主な出展商品
1	(株)カロリアジャパン	十和田市	長いもの成分測定装置
2	(株)JWP	平川市	シーカメラ(圃場の監視等)
3	(株)アイティコワーク	八戸市	アグリレジ(産直専用ポスレジ)
4	伝農アシスト(株)	八戸市	ITによる若手就農者サポートシステム
5	(株)ササキコーポレーション	十和田市	木質バイオマスボイラー

## 3 セミナーの開催

「あおり農商工連携推進プラン」(平成28年2月策定)に掲げる重点分野(バイオマス、植物工場、農業機器等、農商工連携による商品・サービス)における業界の動向や先進事例等に関するセミナーの開催を通じて、農商工連携による事業化の促進につなげる。

名称		開催日・場所	参加者数	内 容
あおり農商工連携推進セミナー(あおり植物工場研究会及びあおりバイオマスビジネス研究会)	第1回	平成29年11月21日 (アップルパレス青森)	58名	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ バイオマスを活用した高付加価値農産物の生産について 講師: 銀座農園株式会社 代表取締役社長 飯村 一樹</li> <li>■ 植物工場における黒字化の条件、今後のビジネスチャンス 講師: 一般社団法人イノプレックス 代表理事 藤本 真狩</li> <li>■ 八戸バイオマス発電事業の概要 講演: 八戸バイオマス発電株式会社 代表取締役 山本 稔之</li> <li>■ 小規模木質バイオマスビジネスの現状と西目屋村の取組みについて 講師: 西目屋薪エネルギー株式会社 代表取締役 虎澤 裕大</li> </ul>
	第2回	平成30年2月2日 (ウェディングプラザ アラスカ)	63名	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ AI・IoT・BigDataを活用したスマート農業への取組み 講師: ベジタリア株式会社 代表取締役 小池 聡</li> <li>■ 省エネ型屋内農場システムPU TFARMについて 講師: プランツラボラトリー株式会社 代表取締役 湯川 敦之</li> <li>■ 牧之原バイオガス発電所の始動と今後の展開 講師: アーキアエナジー株式会社 代表取締役 植田 徹也</li> </ul>
あおり食産業推進セミナー  ※総合販売戦略課と共催		平成30年1月25日 (青森国際ホテル)	87名	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 食品安全に関わるマネジメント ~HACCPとJFS規格の概要について~ 講師: 一般財団法人食品安全マネジメント協会 術本部長 窪田 英俊</li> <li>■ 新たな食品表示制度への移行について 講師: 青森県農林水産部食の安全・安心推進課 主幹 種市 順司</li> <li>■ HACCP制度化に関する現在の状況について 講師: 青森県健康福祉部保健衛生課 主査 石井 昌史</li> </ul>
あおり食産業推進フェア(新商品お披露目会&知財実践セミナー)  ※総合販売戦略課及び新産業創造課と共催		平成30年3月22日 (ホテル青森)	300名	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 知財実践セミナー</li> <li>■ 加工技術セミナー</li> <li>■ 新商品お披露目会・商品づくり相談                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県、関係機関等の支援による新商品の展示</li> <li>○ 商品開発、加工技術、支援制度等に関する相談</li> </ul> </li> </ul>



## 4 あおもり農商工連携助成事業(平成21～31年度)

総額28億円のあおもり農商工連携ファンドを造成し、農林漁業者と中小企業者との連携による新商品開発等に対して助成。

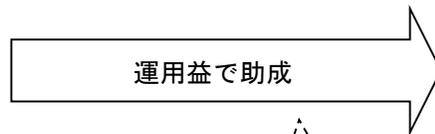
■管理運営:(地独)青森県産業技術センター(本部企画経営室)

※支援機関=経営革新支援機関助成事業の略

## あおもり農商工連携支援基金(農商工連携ファンド)の概要

**あおもり農商工  
連携支援基金  
28億円**

- 運用期間: 10年
- 想定運用率(国債等購入): 1.30%
- 運用益:  
3,640万円/年
- 管理運営者:  
(地独)青森県産業技術センター



**【対象事業の採択基準】**

- ①事業実施の確実性
- ②事業化の熟度
- ③事業目標の達成見込み
- ④産業振興と雇用創出への効果

**【助成事業】**

①経営革新助成事業

【対象者】 中小企業者等と農林漁業者との連携体

【対象事業】 調査、新商品・新技術・新役務の開発、販路開拓

【助成限度額】 500万円以内(助成期間:2カ年以内)

【助成率】

- ・特定売上目標設定事業、農商工連携推進プラン関連事業 4/5以内
- ・支援重点分野または雇用創出 2/3以内
- ・その他 1/2以内

②経営革新支援機関助成事業

【対象者】 中小企業者と農林漁業者との連携体を支援する機関

【対象事業】 指導助言、販路開拓支援

【助成限度額】 100万円以内(助成期間:1カ年以内)

【助成率】 10/10以内

### <H21-H28の支援例>



プロテオグリカン  
のむヨーグルト



おやさいクレヨン  
Vegetabo  
~Season3



kimoriCIDRE  
(キモリシードル)



最中で包んだ  
嶽きみスープ

# 《農商工連携による産業振興》

# 平成29年度の実績

事業区分		事業名	中小企業者	農林漁業者
H29 上期 採択	経営革新助 成事業	青森県産黒にんにくを活用したサプリメント開発及び販路開拓事業	(株)ファーストインターナショナル	(株)松山ハーブ農園
		ハーブ加工品及びぷちぷよ(ミニトマト)加工品の商品化開発事業	青森アグリ(株)	(同)徳差ファーム
		「あおり藍」を用いた農薬代替エキスの開発	あおり藍産業協同組合	農事組合法人羽白開発
		特産品ながいものながいもエキス商品開発及び販路拡大事業	ミリオン(株)	十和田おいらせ農業協同組合
		ホタテ養殖残渣からの悪臭を処理する装置の開発及び普及	(株)技衡	石岡 雄一
		今別産天然海藻を原料とした商品開発と販路開拓	(同)褰月海宝	竜飛今別漁業協同組合
		発泡性日本酒(スパークリング日本酒)の商品開発と販路開拓	八戸酒造(株)	平館 昭彦
		県産じゃがいも・毛豆を活用した高付加価値商品(じゃがいもスープ・毛豆スープ)の商品開発及び販路開拓	(株)栄研	(株)黄金崎農場 ありま農園
		「おやさいクレヨンおやつ」開発・販路開拓事業	mizuiro(株)	(有)白神アグリサービス
		青森県新品種ながいも「つくなが」の商品開発とプロモーション事業	(株)エスイージー	Michiki農園
りんごソフト・りんごシェイクを日本全国に広める事業	(株)フォーシーズン	福士農園		

事業区分		事業名	中小企業者	農林漁業者
H29 下期 採択	経営革新助 成事業	産地の見える化をした農作物を使用しての商品開発	(株)木村食品工業	津軽みらい農業協同組合
		「紅の夢」(赤い果肉のりんご)を使った加工食品の開発	(有)藤崎冷蔵商会	タムラファーム(株)
		赤肉りんご「紅の夢」を活用したスカルプケア商品の企画開発事業	(株)ルビー・ディー	くらや町田農園
		青森産カシスの圧搾残渣を利用した商品開発及び販路開拓	(株)お菓子のみやきん	七戸まこと農場
		トマトのL-グルタミン酸含量非破壊測定装置の開発及び販路開拓	(株)カロリアジャパン	七戸町特産品生産販売 促進協議会
		横浜町の菜の花を活用した漬け物シリーズの商品開発	(有)すぎやま	沢谷 政夫
		県産農産物(りんご、カシス、嶽きみ等)を原料とした、砂糖を使わない低糖質、低カロリーの和菓子の開発と販路の開拓	かねご製餡(株)	(有)ANEKKO
		深浦サーモン販売促進事業	(株)あおり海山	深浦漁業協同組合
		八戸港産サバを使った新商品開発及び販路開拓	(株)マルヌシ	八戸みなと漁業協同組合
		ガマズミを活用したサイダーの開発及び販路開拓	(株)佐瀧本店	三戸町ジョミ生産組合
地元産えご草を活用した新商品開発と販路開拓事業	(株)あおり白神水産	深浦地域漁村女性の会		

平成29年2月に策定した「あおり農商工連携推進プラン」に基づき、同プランで定めた重点分野に取り組み、農商工連携産業の競争力強化を図ることにより、関連産業の集積を促進する。

## 【現状と課題】

県では、平成18年に策定した「農工ベストミックス構想」に基づき、農工連携による新産業の創出・育成に向けて取り組んできたところ。

これらを踏まえ、平成29年2月に「あおり農商工連携推進プラン」(事業期間平成29年度～平成33年度)を策定し、引き続き農商工連携による産業振興を一層推進していくこととしている。

### <重点分野(方向性・課題)>

- ① バイオマス(発電等の取組拡大、高付加価値化)
- ② 植物工場(経営安定化・高収益化)
- ③ 農業機器等(省力化・高効率化機械等)の開発推進
- ④ 農商工連携による商品・サービス(本県ならではの資源を活用した商品開発等の一層の推進)

## 【事業内容】

### 概要

#### 1 農商工連携成長産業化支援事業 (5,474千円)

##### 【取組1】

農商工連携に係る普及啓発等のためのセミナー等の開催

##### 【取組2】

専門家派遣事業

##### 【取組3】

農業機器等に関する全国規模の展示会への出展支援



#### 2 あおり農商工連携支援基金(農商工連携ファンド)

総額28億円のあおり農商工連携ファンドを造成し、農林漁業者と中小企業者との連携による新商品開発等に対して助成。

(平成21～31年度)

・助成率2分の1～5分の4

・助成額500万円以内

管理運営:(地独)青森県産業技術センター(本部企画経営室)

## 【事業効果】

### 「あおり農商工連携推進プラン」の推進

- ① バイオマス  
⇒高付加価値化等による本県農林水産業・商工業の活性化
- ② 植物工場  
⇒生産性向上等による雇用の確保・増加や農業の産業化
- ③ 農業機器等  
⇒本県農林水産業の振興、製造業の経営基盤強化
- ④ 農商工連携による商品・サービス  
⇒農林漁業者の所得向上、地域の企業等の売上向上



- 雇用の創出
- 地域経済の活性化

## 目的

本県の豊富な地域資源と県内企業が持つ技術を最大限に活用した商品開発の促進、商品の付加価値を効果的に訴求する先導的事例の創出により、地域資源活の活用による産業振興を図る。

## 現状・課題

- 製造業は5年間で約200社(12%)減少。
- 豊富な地域資源や独自技術をビジネスに生かしきれていない。
- 東京オリンピック・パラリンピックの開催効果の獲得に向けて、豊富な地域資源と企業が持つ技術力などの強みを活かした商品開発等を強化する必要がある。
- 本県工芸品等の魅力をオリパラ大会関係者や国内外観光客が多く訪れる首都圏等で発信し、販路の拡大につなげる好機となっている。

## 事業内容

### 【効果的に訴求する事例の創出】

#### 1 地域資源バリュー・イノベーションモデル構築推進事業(8,729千円)

地域資源を活用した商品や技術について、価値や優位性の明確化や新たな用途、異なる商品の組み合わせ、異業種・大手企業との連携などによる付加価値向上や情報発信などの先導的事例（バリュー・イノベーション）の創出に取り組む。

- (1) 地域資源バリュー・イノベーションモデル企画及び構築事業  
バリュー・イノベーションモデルの構築を進めるとともに、全国展開するメーカー、製造小売等を対象として、地域資源に関する連携ニーズを把握し、提案活動とマッチングを実施する。
- (2) 地域資源活用モデル普及事業  
地域資源活用モデル構築事業の成果に関するセミナーを開催する。

### 【地域資源のポテンシャルと県内企業の技術を生かした商品開発】

#### 2 発酵技術を活用した産業振興事業(5,254千円)

農林水産物の付加価値を健康面で高める発酵技術に着目し、本県に蓄積された発酵技術を活用した商品開発の促進を通じて食品製造業の振興を図る。

- (1) 発酵技術を活用した地域資源ビジネスモデルの確立  
市場動向や消費者ニーズを踏まえ、他地域と差別化した本県独自のビジネスモデルの確立に取り組む。
- (2) 発酵食品分野における商品開発の促進  
産業技術センターと連携し、本県由来の微生物を活用する技術の実用化を推進するとともに、発酵食品の市場動向に関するセミナーを開催する。

## 事業効果

- 地域資源や地域特性を生かした魅力あふれる「しごとづくり」の実現
- 地域経済の活性化
- 東京オリンピック・パラリンピック開催効果の獲得

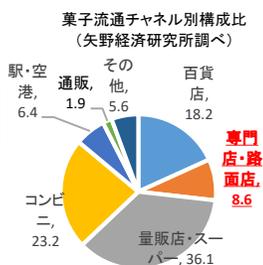
## 目的

消費者の健康志向が高まっている中、伝統とトレンドの中から地域で生まれるスイーツ(菓子)に着目し、青森ならではの健康志向スイーツの商品開発と販路開拓に向けた取組を推進し、菓子製造分野における産業振興と魅力あふれる「しごとづくり」につなげる。

## 現状・課題

(全国菓子卸商業組合連合会調べ)(億円)

年度	生産額	小売額
25	23,427	31,757
26	23,950	32,522
27	24,524	33,339



- ◆全国的なスイーツブームを背景に、スイーツ(菓子)の国内市場は拡大を続けている。
- ◆青森県には、地域に根差して、優れた商品を生産する多くの菓子店が存在し、地産地消の原動力の一つとなっている。
- ◆近年はコンビニにおけるスイーツコーナーが充実するとともに、全国チェーンの地方展開が進み、県内の菓子業界の脅威となっている。
- ◆消費者の健康志向が高まっている中、市場ニーズに対応した商品開発を進めていく必要がある。
- ◆県内の地域資源を活用し、青森ならではの商品を開発し、差別化を図る必要がある。

## 事業内容

### 【取組1】

#### 「あおもり健康志向スイーツゼミナール」の設置・運営 【5,412千円】

県内菓子等事業者及び消費関係者(施設関係者等)で構成する「あおもり健康志向スイーツゼミナール」を設置する。

ゼミナールでは、市場ニーズをはじめ、技術シーズや地域資源の活用可能性などについて調査検討を行い、今後の商品開発に向けた分野別の基本コンセプトや、業界が一丸となったキャンペーンなどを提案する。

＜開発イメージ＞

- 健康スイーツ(カシス、りんご、ベリーなどの地域資源活用)
- 寝る前スイーツ(低カロリー)
- 誰でもスイーツ(低糖質、アレルギー対応) など

### 【取組2】

#### 健康志向スイーツモデル普及事業 【2,498千円】

県内事業者による健康志向スイーツの取組事例を広く紹介し、県内事業者の参入促進につなげる。

※2年度目は、首都圏における展示会等に出展し、あおもり発の健康志向スイーツのPRを行う。



ex.低糖質どらやき

## 事業効果

青森ならではの  
商品の開発

健康志向に対応  
した商品開発

菓子製造分野  
における  
産業振興

地域資源や地域特性  
を生かした  
魅力あふれる  
「しごとづくり」

## ○中小企業経営力向上支援事業

### 【目的】

県内中小企業（食品製造業等）等を対象に、首都圏で開催される展示商談会への出展を支援し、販路拡大につなげる。

### 【事業期間】

平成28年度～平成29年度（2年間）

### 【事業概要】

#### 1. 事前研修の実施

県内事業者を対象として、販路開拓の手法及び各種媒体の効果的な活用方法等、商談力・発信力強化のための研修を実施。

#### 2. 展示商談会への出展支援

首都圏で開催される大規模展示商談会に「青森県ブース」を設置し、県内中小企業等の出展・商談を支援。

2月 スーパーマーケット・トレードショー2018  
（国内最大級）

3月 FOODEX JAPAN2018  
（アジア最大級）

※「A!Premium」輸送サービスと連携（港湾空港課）

#### 3. 事後研修の実施

展示商談会開催後、契約取引実現のための商談の進め方等について、出展者ごとに専門家によるアドバイス（取得名刺の分析・活用、見込み客への対応方法等）を実施。

### 出展者（スーパーマーケットトレードショー2018）

34事業者

1	桃川(株)	18	(有)サンマモルワイナリー
2	(株)ヤマダイ	19	(一財)深浦町食産業振興公社
3	(株)新日本青果	20	(株)ヤマヨ
4	田子町ガーリックセンター	21	丸大堀内(株)
5	(株)あおもり北彩館	22	(株)館山
6	(有)せいの農園	23	(株)グローバルフィールド
7	伝農アシスト(株)	24	(株)木戸食品
8	(株)佐瀧本店	25	合同会社ナチュラル青森
9	南部町商工会	26	合同会社五代農産加工
10	(一財)新郷村ふるさと活性化公社	27	(有)エコネット
11	(有)柏崎青果	28	上北農産加工(株)
12	御菓子司 甘美堂	29	なんぶ農援(株)
13	(株)三福製麺	30	しみず食品(株)
14	(株)旨道	31	企業組合でる・そーれ
15	(株)エイ・ワンド	32	南部桑研(株)
16	(株)オダカネ	33	美保野グリーン牧場(株)※
17	(株)北彩屋	34	(株)那由多のりんご園※

### 出展者（FOODEX JAPAN 2018）

11事業者

1	(株)丸石沼田商店	7	(有)白神山美水館
2	ヤマモト食品(株)	8	(株)岡崎屋
3	タムラファーム(株)	9	六戸町
4	もりやま園(株)	10	三上農園※
5	かねご製館(株)	11	吉ざえもん農園※
6	(株)大竹菓子舗		

※「A!Premium」輸送サービス

## 目的

東京オリンピック・パラリンピック開催効果の獲得に向け、県内企業が開発した加工食品について、消費者ニーズと小売業態の多様化に対応し、展示会やセレクトショップ等多様な販売チャネルを活用するとともに、消費者やバイヤーに商品の付加価値を的確にPRするための提案力を強化することにより、販路の拡大と商品力の向上につなげる。

## 【現状・課題】

- 東京オリンピック・パラリンピックの開催効果の獲得に向けて、首都圏等において、販路拡大につなげる必要があること。
- 食料品は消費者ニーズの多様化に伴い、セレクトショップが増加傾向にあり、地方のこだわり商品を売り込む絶好の機会であること。
- 本県の地域資源を活用した加工食品は、総じてその付加価値を明確に表現できていないこと。
- 小売業態が多様化する中で、商談の成約率の向上を図るためには、企業特性や商品特性を踏まえて、適切な販路を選択する必要があること。
- 他地域の商品との競争に勝つため、観的な評価や消費者ニーズを踏まえて、商品力の向上を図る必要があること。

## 【事業内容】

### 【取組1】商品提案力向上事業(6,593千円)

1. 販路指導・提案力向上セミナー  
企業特性や商品特性に基づく、適切な販売チャネルの選定や提案力の向上に向けたセミナーを開催。
2. 販路開拓の支援
  - (1) 販売チャネルのコーディネート  
専門家による相談会を開催し、適切な販売チャネルをコーディネート。
  - (2) テスト販売及び展示会への出展
    - ① セレクトショップ（首都圏）  
食品系セレクトショップにおけるテスト販売を実施。
    - ② スーパーマーケット・トレードショー2019（幕張メッセ）  
主に国内スーパーを対象とした同展示会において、市町村及び産業支援機関とともに青森県ブースを出展。
  - (3) フォローアップ  
テスト販売及び展示会における成果を踏まえた専門家による個別指導を実施。

### 【取組2】新商品マーケティングサポート事業(1,200千円)

県庁職員をモニターとした「青森県庁商品モニターバンク」を創設し、県内企業が開発した加工食品のモニタリングを行うとともに、その結果をフィードバックする仕組みを構築する。

## 【事業効果】

- 県内企業の提案力の向上
- 地域産品の商品力の向上
- 地域産業の活性化



- 地域経済の活性化
- 東京オリンピック・パラリンピック開催効果の獲得

【多様化する販売チャネルへの対応力の向上】

百貨店

セレクトショップ

スーパー  
マーケット

# 《伝統工芸産業の振興》

## 伝統工芸品の指定及び伝統工芸士の認定

### (1) 伝統工芸品の指定

#### 【目的】

青森県の歴史と風土に培われ、県民の生活の中で育み受け継がれてきた工芸品を、青森県伝統工芸品として指定することにより、その声価を高め、工芸品の製造に携わる事業者等の製造意欲の高揚及び工芸品産業の育成・振興を図る。

#### 【指定要件】

1. 主として、日常生活の用に供される工芸品であること。
2. その製造工程の主要部分が手工的であること。
3. 伝統的な技術又は技法により製造されるものであること。
4. 原材料が伝統的に使用されてきたものであること。
5. 当該工芸品が、概ね50年以上の歴史を有するものであること。

#### 【指定件数】

32工芸品70製造者(平成30年6月現在)



▲平成29年度 伝統工芸品指定  
南部花形組子 (館タテグ工芸 館功氏)



▲平成29年度 伝統工芸士認定  
中村禮子氏 (南部菱刺し)

### (2) 伝統工芸士の認定

#### 【目的】

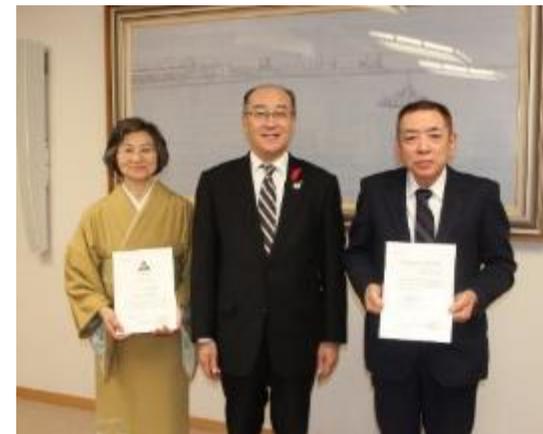
県指定伝統工芸品の製造に従事している技術者のうち、高度の技術・技法を保持する者を県伝統工芸士と認定することにより、社会的な評価を高めるとともに、従事意欲と技術の向上を図り、伝統的技術又は技法の指導者として、工芸品の振興、後継者の育成と伝統工芸品の次世代への継承に寄与する。

#### 【認定要件】

1. 青森県内に居住していること。
2. 伝統工芸品の製造の実務経験が12年以上あり、かつ現在もその製造に従事していること。
3. 伝統工芸品の製造に関する高度の技術又は技法及び必要な知識を有し、その維持又は発展に努めていること。
4. 後継者育成に熱意のある人。
5. 青森県伝統工芸士にふさわしい高潔な人格を有すること。
6. 経済産業大臣認定の伝統工芸士でない人。

#### 【認定件数】

59名(平成30年6月現在)



# 《伝統工芸産業の振興》

## 伝統工芸品等首都圏マーケティング事業（平成29年度実施状況）

### （1）事業説明会の開催

本県工芸品製造者等を対象に、事業説明をするとともに消費者ニーズを捉えたモノづくりと、作り手自ら情報を発信することの大切さをテーマにしたセミナーを併催し、事業参加者を広く募集した。

講師 メイド・イン・ジャパン・プロジェクト株式会社  
代表取締役 赤瀬 浩成 氏

#### ①八戸会場

開催日 平成29年6月7日（水）

参加者 19名

#### ②弘前会場

開催日 平成29年6月8日（木）

参加者 21名

#### ③青森会場

開催日 平成29年6月8日（木）

参加者 10名



### （2）参加事業者の決定

県内で工芸品を製造・販売している事業者を公募した結果、昨年度からの継続参加者及び新規参加者合わせて18者の参加を決定した。

### （3）テストマーケティングに向けた個別指導と商品選定

参加事業者を対象に、専門家による首都圏の消費者ニーズに基づく個別指導を実施し、各事業者の商品をブラッシュアップした上でテスト販売に出品する商品を選定した。

#### ①第1回 個別指導及び商品選定

開催日 平成29年7月5日～7日

#### ②第2回 個別指導及び商品選定

開催日 平成29年8月29日～31日



#### ③第3回 商品選定会

開催日 平成29年10月16日



# 《伝統工芸産業の振興》

## 伝統工芸品等首都圏マーケティング事業(平成29年度実施状況)

### (4) テストマーケティングの実施

#### ① テスト販売「青森展」概要

外国人観光客も多く訪れる首都圏の工芸品販売店において  
12月の1ヶ月間、テスト販売及びPRを行った。

- ◆期間 平成29年12月1日～31日
- ◆場所 東京ミッドタウン ガレリア3階「THE COVER NIPPON」
- ◆出品商品 18事業者による約100商品
- ◆売上点数 約300点
- ◆売上総額 3,323千円
- ◆来場者数 15,076人
- ◆PR方法 PR冊子の作成・配布  
東京ミッドタウン館内モニターでの情報発信  
店舗HPによる情報配信



▲店内POP



▲PR冊子



▲テスト販売「青森展」の様子



# 《伝統工芸産業の振興》

## 伝統工芸品等首都圏マーケティング事業(平成29年度実施状況)

### (4) テストマーケティングの実施

#### ② マーケティングイベント「青森に出会う。」の実施

12月のテスト販売期間中、首都圏消費者と出品者が交流する(出品者から商品PRを行い、消費者の意見を直接聴く)機会を設けた。

- ◆開催日 平成29年12月12日
- ◆場所 東京ミッドタウン ガレリア3階「THE COVER NIPPON」
- ◆参加者 首都圏消費者 30名  
出品者 10事業者12名



▲イベントチラシ



▲マーケティングイベントの様子



### (5) フィードバック研修会の開催

テスト販売の分析結果を参加者にフィードバックするとともに、さらなるブラッシュアップに向けてのアドバイスを実施した。

- ◆開催日 平成30年2月14日～15日
- ◆参加者 15事業者



▲フィードバック研修の様子

## 1 伝統的工芸品振興事業 30年度当初予算額 410千円

県内の伝統工芸の振興を図り、産地の自立的発展を促進するため、伝統工芸品のPRに資する各種施策を実施するとともに、関係団体が行う伝統工芸振興事業に対して支援を行う。

- (1) 青森県伝統工芸指定審査会の運営、伝統工芸品振興を図るための担当者会議等への出席、県内関係者との連絡調整
- (2) 伝統的工芸品月間展示事業の実施等、関係団体が行う伝統工芸振興事業への支援

## 2 青森伝統工芸士認定事業 30年度当初予算額 652千円

県内で活動している高度な技能・技術を有する人材を県が認定し、適切に評価し、従事意欲と技術の更なる向上を図り、本県の伝統工芸品産業を担う人材の育成を図る。

- (1) 青森県伝統工芸士の認定(認定証の交付、伝統工芸士のPR)

## 3 あおもり工芸品産業振興事業(平成30～31年度) 30年度当初予算額 6,980千円

東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、同大会関係者及び国内外観光客が訪れる首都圏等において、本県工芸品等の価値と魅力を多面的かつ強力に発信し、インバウンド・国内観光客等の消費者とバイヤーの両面で販売促進事業を展開することで、工芸品産業の振興を図るとともに、東京オリンピック・パラリンピック開催効果の獲得につなげる。

### あおもり工芸品魅力発信・向上事業

#### (1) 消費者を対象とした取組

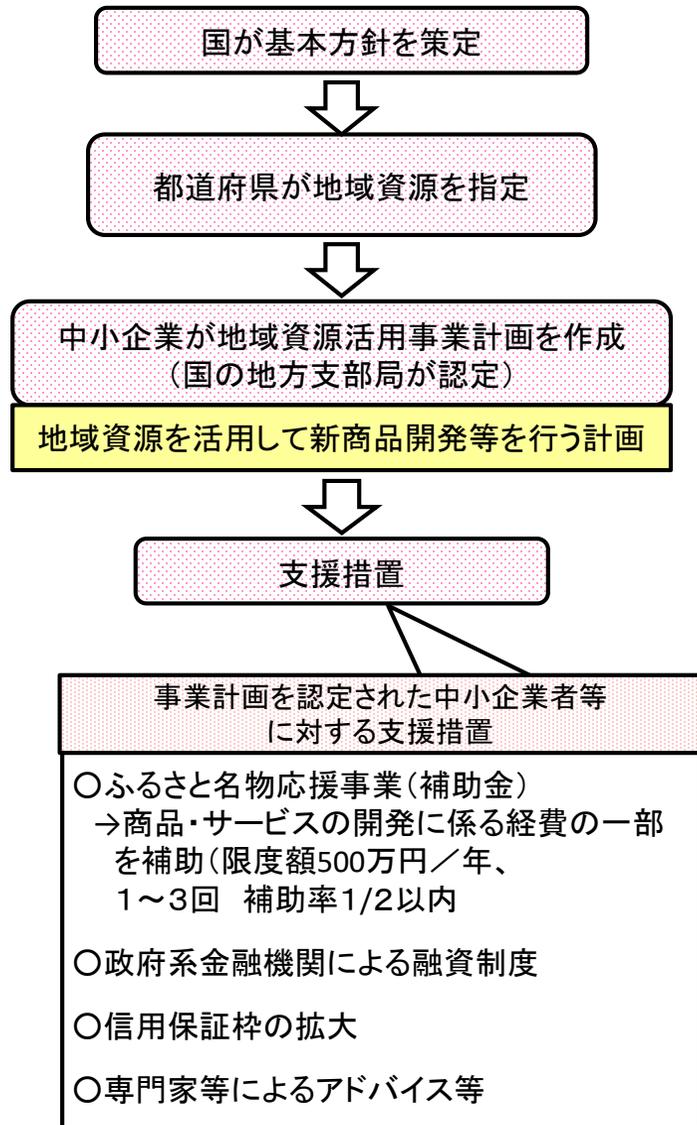
大会関係者や国内外観光客等が多く訪れる首都圏及び東北の拠点都市に所在し、集客が見込まれる店舗等において、あおもり工芸品の企画展(フェア)を開催することで、本県工芸品の価値と魅力を発信する。

#### (2) バイヤーを対象とした取組

外国人観光客需要を見据え、首都圏で開催される国際的な見本市へ青森県ブースの出展及び出展前後に勉強会を行うことで、商品開発力を向上させるとともに、国内外のバイヤーをターゲットに本県工芸品の価値と魅力を発信する。

# 《中小企業地域資源活用プログラムによる支援》

## 中小企業地域資源活用プログラム



## 「地域資源」とは

- (1) 地域の特産物として相当程度認識されている農林水産物や鉱工業品
- (2) 地域の特産物である鉱工業品の生産に係る技術
- (3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域観光資源として相当程度認識されているもの

青森県の地域産業資源 【平成30年4月1日現在】

農林水産物	鉱工業品	観光資源	合計
123	89	119	331

東北各県の計画認定件数 (平成30年6月8日現在)

東北地域合計	154件
青森県	40件
岩手県	17件
秋田県	16件
宮城県	26件
山形県	35件
福島県	20件

# 《中小企業地域資源活用プログラムによる支援》

## 地域資源活用事業認定計画認定事業者

認定年度	事業者名	活用する地域資源	認定年度	事業者名	活用する地域資源
19	ブナコ漆器製造(株)(弘前市)	ブナ材	25	(株)ツガルサイコー(黒石市)	お山のおもしえ学校
20	(株)ディメール(八戸市)	サバ		(有)柏崎青果(おいらせ町)	ごぼう
	(株)スパン・ライフ(八戸市)	にんにく		(有)村口産業(風間浦村)	青森ヒバ
	十和田おいらせ農業協同組合(十和田市)	にんにく		なんぶ農援(株)(南部町)	妙丹柿
	(有)十和田乗馬倶楽部(十和田市)	乗馬場	26	つがるりんごセラミド(株)(弘前市)	りんご
21	(有)田向商店(青森市)	サメ		(有)サンマモルワイナリー(むつ市)	りんご
	ミリオン(株)(青森市)	ながいも		河野商店(むつ市)	アピオス
	青い森国土保全協同組合(つがる市)	杉	27	(有)十和田乗馬倶楽部(十和田市)	流鏝馬
22	(有)ゆめりんご(弘前市)	岩木山		(有)島木材工業(大間市)	青森ヒバ
	(有)鳶温泉旅館(十和田市)	鳶温泉		日本ハルマ(株)(弘前市)	りんご
23	(有)イシオカ工芸(弘前市)	津軽塗		山野りんご(株)(弘前市)	りんご
	(有)アラコウ水産(平内町)	ホタテ・ナマコ	(株)北彩屋(むつ市)	ニジマス、イカ	
	農業生産法人合同会社津軽ぶどう楽園(鶴田町)	スチューベン(ぶどう)	28	(株)エビスワ農園(東北町)	ヤーコン、にんにく
(株)駒嶺商店(風間浦村)	あんこう	Yプロジェクト(株)(大間町)		あわび、イカ、大間マゴロ、青森ヒバ等	
24	あおもり藍産業協同組合(青森市)	藍		(有)こめいち奥本商店(佐井村)	ナマコ
	三浦醸造(青森市)	りんご	29	(有)二階堂(青森市)	藍、りんご、カシス
	熊谷食品(株)(弘前市)	津軽の漬物		ブナコ(株)(弘前市)	ブナコ
	農業生産法人四季菜にんにく(株)(三戸町)	にんにく		(株)ふかうら開発(深浦町)	クロマゴロ、雪中にんじん、白神山地等
	(株)菊駒酒造(五戸町)	青森県の日本酒	(株)天の川(青森市)	ブラックベリー	
25	(株)今井産業(平川市)	りんご、杉材	30	(株)ツガルサイコー(黒石市)	黒石温泉郷